

2009年3月4日

株式会社ワークスアプリケーションズ

KDDI、「COMPANY®」HCMシリーズ導入で 戦略的な人事情報管理を実現

～10,000名を超える社員情報の一元化による人財の可視化を目指す～

株式会社ワークスアプリケーションズ（以下、ワークス）は、総合通信事業者である KDDI 株式会社より、新人事システムとして「COMPANY® 人事・給与」「COMPANY® Web Service」「Ariel AirOne Enterprise for COMPANY®」の3製品を受注、2009年8月より順次稼働を開始いたしましたので、お知らせいたします。

●10,000名を超える人事情報の一元管理を「COMPANY®」で実現

2000年に大規模合併を実施した KDDI では、多くの出向者や海外赴任者を含め、10,000名を超える大量の社員情報を管理しており、複数に分散した人事情報マスタデータの一元化を課題に抱えていました。個別の機能開発を行わず、約800社の導入実績で得た豊富な標準機能で対応できる点が評価され、このたび「COMPANY®」での人事システム刷新が決定しました。これにより、これまで分散していたマスタデータを統合することで、社員の適性を把握した人員配置など戦略的な人材活用が可能となります。

●人事情報のセルフサービス化促進により、業務負荷の軽減とユーザー利便性向上を目指す

KDDI では、従来システムでも各種申請手続き等を社員が自ら申請できる仕組みを運用してきました。このたびのシステム導入により、運用コストの削減効果とともに、人事系の各種申請手続きや証明書発行、社員情報照会等、Web上での対応が強化されたため、さらなるセルフサービス化を促進することが可能になりました。これにより、日々発生する大量のデータ入力・確認作業をはじめとした人事業務の負荷軽減と業務効率化を図ると同時に、社員の利便性向上と正確でタイムリーな情報更新が促進されます。また、「COMPANY®」シリーズをはじめ、他システムともシームレスな連携が可能のため、他部門とのスムーズなデータ交換が実現いたします。

ワークスでは、今後も、大企業におけるあらゆる業務に標準機能で対応できる ERP パッケージとして、製品・機能の拡充と営業活動の強化に努めてまいります。